



エマニエル夫人の
シルビア・クリステル主演

卒業試験

シルビア・クリステル
エッケハルト・ベレ
ジャン・クロード・ブイヨン
ギゼラ・ハーン
監督ジギ・ローテムント
脚本ウォルフガング・バウアー
製作カール・シュピース
東和提供/カラー作品
西ドイツ映画

ES WAR NICHT DIE NACHTIGAL...



これが
おなじ私なのだろうか
ためらい、おののく青春が
いまは愛を求めて
激しく、熱く燃えようとは…
話題の「エマニエル夫人」の
シルビア・クリステルが
古都ベローナの夏の日
初めて知った恋の痛み!



エマニエル夫人の
シルビア・クリステル主演

卒業試験



●人妻から女子学生へ—再び愛の喜びに
ひたる話題のヒロイン、シルビア・クリ
ステルの最新作!

本国フランスはもとより、わが国でも
一大センセーションを呼んだ「エマニエ
ル夫人」のヒロイン、シルビア・クリ
ステルがふたたび大胆にエロスの世界に挑
んだ最新作。こんどは役柄も大きく変わ
ってみずみずしい青春を全身で表現する
女子学生。もう一つのシルビアの魅力が
見られるのも楽しみだが、ここでも、白
い、伸びやかな肢体が惜しげもなく陽光
のもとにまぶしい美しさで輝いている。
いま最もナウな《愛人》といわれる「シ
ルビア」旋風がまたもやまき起るに違
いない。

●ひとすじの感傷と陶酔を秘めた、それ
はまさに、アンドレアとパウリの青春の
“卒業試験”だった…

恋とはふしぎなもの。おなじ一人の人
間をその魔術によって別人のように変
えてしまう。恋とはまたいたずら好き。人
の心をもてあそび、思いのままに喜ばせ、
悲しませる。だから、まして、高校生の
ナイーブな青春が恋のために身を灼いた
としても、それは当然のことだった。

肉体は熟しても、まだ心のどこかに不
安を残した、性にめざめる頃のアンドレ
アとパウリの場合がそうだった。

寄宿生活を送る17才の高校生パウリ(エ
ッケハルト・ベレ)は、夏休みを北イタリ
アのガルダ湖畔にある祖母の別荘で久し
ぶりに両親と過ごすため、列車で急いで
いたが、車中でたまたま見かけた妙齡の美
女に心を奪われてしまった。しかも彼女
は乗りあわせた若い男と連れ立って洗面
室で何やら怪しげな行為に及んだのに驚

いたのもつかのま、彼女が父(ジャン・ク
ロード・ブイヨン)の愛人イボンヌ(テ
リー・トルダイ)と知って二度びっくり。
そんなパウリにイボンヌは意味ありげな
流し眼を送るのだった。

パウリはまだ“女”を知らなかった。
だから、隣りに住む同じ年頃の女子学生
アンドレア(シルビア・クリステル)に
誘われてもそれに応じることができず、
互いに気まずい思いをするばかり。その
悩みはアンドレアも同じだった。すっか
りしよげ返るパウリの姿に、父とイボン
ヌはパウリとアンドレアの仲を取り持
とうとして、古都ベローナへドライブに誘
った。ワインに酔い、スナックで踊って
ちよっぴりおとなの気分になったアンド
レアは、「ロミオとジュリエット」の物語
で名高いベローナの、古い館のバルコ
ニーに立つと、ジュリエットのセリフを口
にした。冗談とも本気ともつかぬ愛の告
白。その声が夏の夜の闇に消え、いつし
かパウリはアンドレアの姿を見失って
いた。やがて、巨大なコロセウムの片隅
で、パウリはアンドレアと父の二つに重
なった光景を目撃し、ショックのあまり、
ホテルにとじこもってしまう。事情を察
したイボンヌは、その夜、やさしく愛の手
ほどきを授けたのだった。しかし、若い
心が受けた傷は深く大きかった。



カラー作品 東和提供 ●西ドイツ映画



ES WAR NICHT
DIE NACHTIGALL...



腹の虫のおさまらないパウリはテニス
の試合にかこつけて、アンドレアに意趣
がえしを計ったが、そのことが逆に二人
の気持を結びつける結果となった。夕立
ちに洗われたテニス・コートでパウリと
アンドレアは激しく愛し合った。“また来
年の夏に—”再会を約束してアンドレア
と別れたパウリは、学校に戻るため、再び
車中の人となった。イボンヌも一緒だ。
初めて彼女と出逢った日のことが思い出
される—やがて彼女が席を立った。つ
づいてパウリ。いま、彼は青春の“卒業試
験”にパスした喜びをかみしめていた…
●奔放な《愛》の演技…「エマニエル夫人」
につづく、あの興奮を鮮烈にうたいあげ
た青春讃歌!

17歳と18歳。期待と不安に胸おどらせ
る時期のパウリとアンドレアが体験した、
ひと夏の喜びと哀しみ。おとなの世界へ
入りかけて、ひたむきな思いにふるえる
若い恋を、成熟したおとなたちのセック
スとからませ、対比させながらとらえた
愛のロマンである。

ドイツの有名な劇作家で、現在最も注
目を浴びている33歳の若き才人ウォルフ
ガング・パウアーが初めて映画のために
書きおろしたオリジナル・シナリオを、
これも30歳という新鋭監督ジギ・ローテ
ムントが演出、映画化したものである。

シルビア・クリステルの相手役の高校
生には新人エッケハルト・ベレ。ジェ
ームス・ディーンを若くしたような風貌は、
「個人教授」のルノー・ベルレー、「新・
個人教授」のディディエ・オードパンに
つづく“第三の大型新人”らしいナイ
ーブな魅力で女性ファンの心をつかむこ
とだろう。